

丸太杭の加工機を導入し、生産工程を効率化！ 拡大する需要に応じ、販路拡大を目指す



株式会社室岡林業

◎ 新潟県上越市大字下荒浜393-1

☎ 025-543-6246

🌐 <https://muro-rin.com/>

■ 木材製材業



会社WEBサイト

私たちについて

仕入れの工夫と機械化で 丸太杭の供給体制を強化

1977(昭和52)年、現住所に製材工場を新築して創業。1980(昭和55)年に株式会社室岡林業を設立すると、建設現場で造られる構造物の地盤補強で使われる丸太杭を製造するようになった。全自動丸太樹皮剥き機を導入するなど、業界の中でも早期に機械化に着手。旺盛だった建設需要に対応するため生産力向上に力を入れた。現在では建築木材や景観木材の加工も手がけている。室岡林業は仕入れも特徴的だ。必要な数だけ仕入れる会社が多い中、室岡林業は必要数よりも多めに原木丸太を仕入れることで、急な受注にも対応できる体制を整えている。



きっかけ

丸太杭の 需要拡大に応えたい

建物や土木構造物を造る際には、地面に杭を打ち込んで地盤を補強する「杭基礎」を行う場合が多く、一般的にコンクリートや鉄鋼を用いる工法が採用される。しかし、両者は製造工程で二酸化炭素を排出するなど環境負荷が大きく、工事費も比較的高額になる問題があった。また、近年では国内の森林資源の活用方法



が模索されていた。そのため、環境に優しく、比較的安価で、森林資源の有効活用にもなる丸太杭に注目が集まるように。その結果、以前から地盤補強用の丸太杭を製造していた室岡林業に全国各地から問い合わせが寄せられるようになった。しかし、大量の受注があっても既存の加工機では量産に限界があり、ニーズの高い直径20cmの丸太杭は作業員が手作業で加工。次第に生産が追いつかなくなっていった。



取組の内容

品質の安定と納期短縮で、 顧客の信頼を獲得！

原木丸太を丸太杭に加工し、納品するには、①丸太の選別 ②樹皮剥き ③先削り ④面取り ⑤丸太杭のストック管理という

工程がある。室岡林業はものづくり補助金を活用し、杭を打ちやすいように先を削る「先削り」の効率化を図るための加工機を導入。従来よりも早く且つ大量に製造が可能となり、納期短縮を実現。手作業だった工程が全自動で加工できるようになり、作業員の負担も軽減した。

室岡林業の顧客は公共事業を請け負う建設会社が多く、真っすぐに太さが均一な丸太杭を求められる。そのため、独自の規格を設け、高品質な丸太杭を製造している。また、工事が始まって土を掘削したら丸太杭が必要だったと急遽発注することもあるため、納期短縮は顧客にとって重要な価値となっている。これらの取組が顧客の信頼獲得につながった。



その後の展開

会社のWEBサイトを 丸太杭に特化してリニューアル

生産体制が整ったため、会社のWEBサイトを丸太杭に特化。シンプルで低コスト、地中では木材は腐りにくく、50年以上経っても健全な状態を保っていただける等、丸太杭ならではのメリットをわかりやすく掲載した。また、サイズ表を載せるなど、コンクリートの杭から丸太杭への移行を考える業者が発注のイメージが湧きやすいように工夫。その結果、実際に新規顧客からの反応も増えている。

今後は県外・国外への販路も広げていきたい。将来的には東南アジアなど海外進出も視野に入れている。アジア圏の工事はまだ丸太杭を使う段階までいっていないが、環境問題が深刻化する現在、丸太杭が必要とされる時代がやってくると考えている。そのチャンスを見逃さないように準備を整えている。



message

環境に優しい丸太杭の可能性はまだこれから。今後はコンサルティングにも力を入れ、丸太杭が使用できる建設工事の適用範囲を広げていきたいです。

代表取締役社長 室岡 大蔵 氏